



SINCE 1985

美しいもの、人々のライフスタイルを個性的にサポートするもの、トレンドに流されないもの、グローバルな視点を持ち環境に配慮されたもの、コストパフォーマンスを考慮したもの、そして、使う人のこころを満たしてくれるもの。そんな家具を1985年から一貫してつくり続けてきました。会社設立時にカンパニーポリシーとして掲げたのは、21世紀まで作り続けられるデザイン。我々が送り出せるのは、実際にデザインされ生活の中で使う家具です。大量生産しない事をコンセプトに、国内生産にこだわり永くお使いいただく為に、主張し過ぎない家具をみなさまにお届けします。

エーディコア・ディバイズは、どのような時代にも、どのような空間にも、どのような人にも歓ばれる普遍的な製品造りを目指してきました。1985年から貫いて来た家具づくりに対する私達の信念は、さまざまなお客様と出会い、クオリティの高い空間として結実しています。「一度商品化した製品は廃番にしない」「大量生産しない」「日本国内生産」をコンセプトに、お客様にお届けしたいのは、どこにでもありそうでどこにもない家具。デザインが主張し過ぎない家具です。永くお使いいただくために、強度にもこだわり、椅子の場合独自の強度実験を行い、JIS規格の3倍以上の強度を確認できたものだけを生産しています。

A-mode

『A-mode : エーモード』は、カリフォルニアスタイルをイメージしたファニチャーシリーズです。シンプルでありながら素材や使い心地にこだわり、ナチュラルで優しいデザインを大切にしました。カリフォルニアスタイルは、簡素化されただけの空間ではなく、主張しすぎないインテリア要素を加えながら空間を構成します。新しいモダン建築だけではなく、これからの日本建築にも通じるものがあります。



MD-1401
COMFORT CHAIR
CONFERENCE CHAIR

MD-3212D
LIVING & DINING TABLE



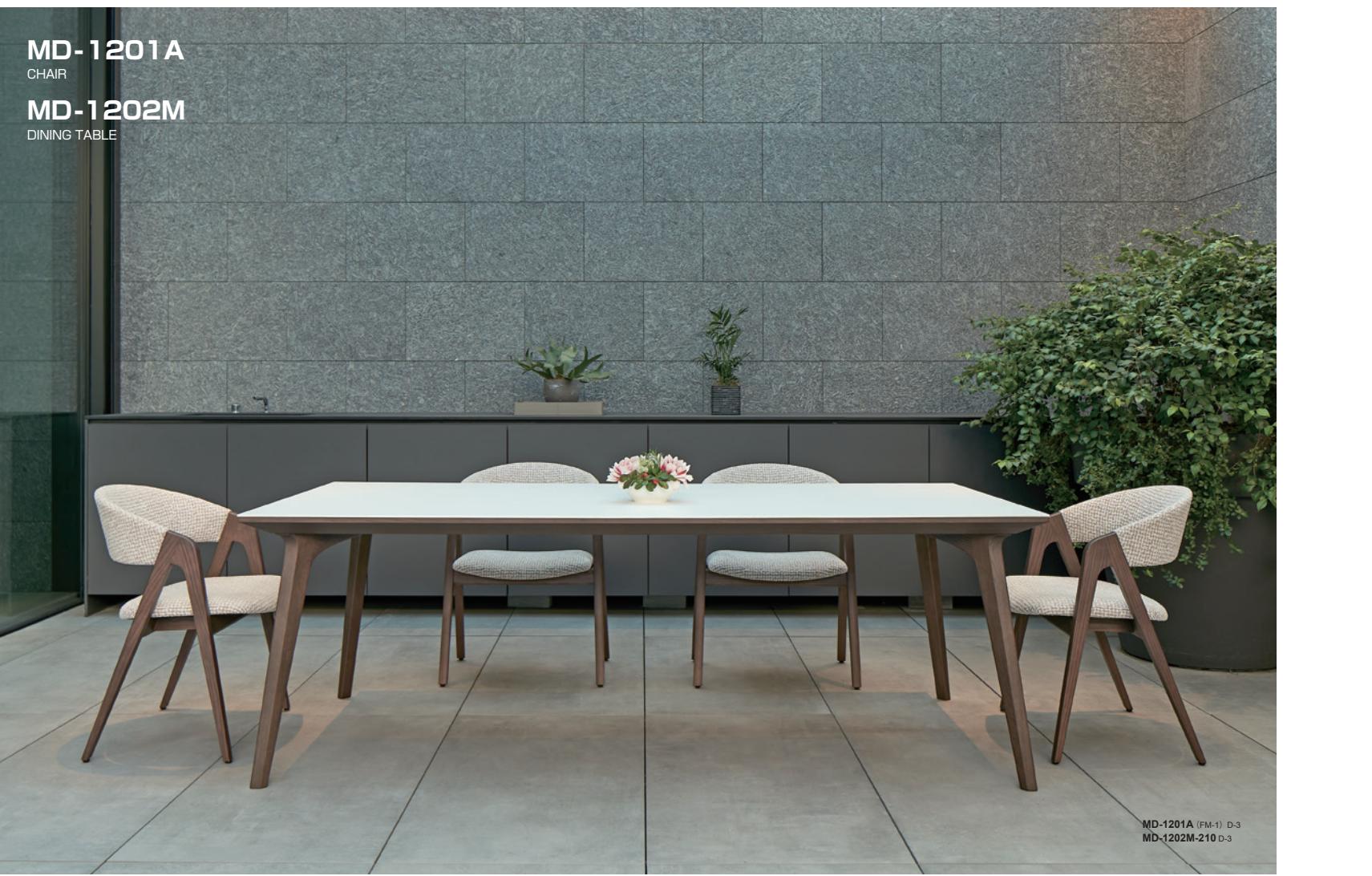
MD-1401A (RG-5/ADC-6) MD-1401S (RG-5/ADC-6) MD-1401-OP (ADC-6) MD-1401H-OP-B MD-3212D-M-180E (RG-5)



MD-3212MH-120C (EB-7) D-3 MD-1401AC (BP-1/ADC-2) MD-1401-OP (ADC-2)

MD-3211
SOFA
MD-3212
LIVING TABLE





MD-1201A

CHAIR

MD-1202M

DINING TABLE

MD-1201A (FM-1) D-3
MD-1202M-210 D-3

MD-1101

COMFORT CHAIR

017-MODEL

CONFERENCE TABLE



MD-1101A (ADO-5) D-6
NC-017N-T360 D-6



MD-901
CHAIR

MD-905
DINING TABLE



MD-901S (参考仕様) D-5
MD-901A (参考仕様) D-5
MD-905-210 D-5
RA-071H-NCV-S



MD-805
SOFA

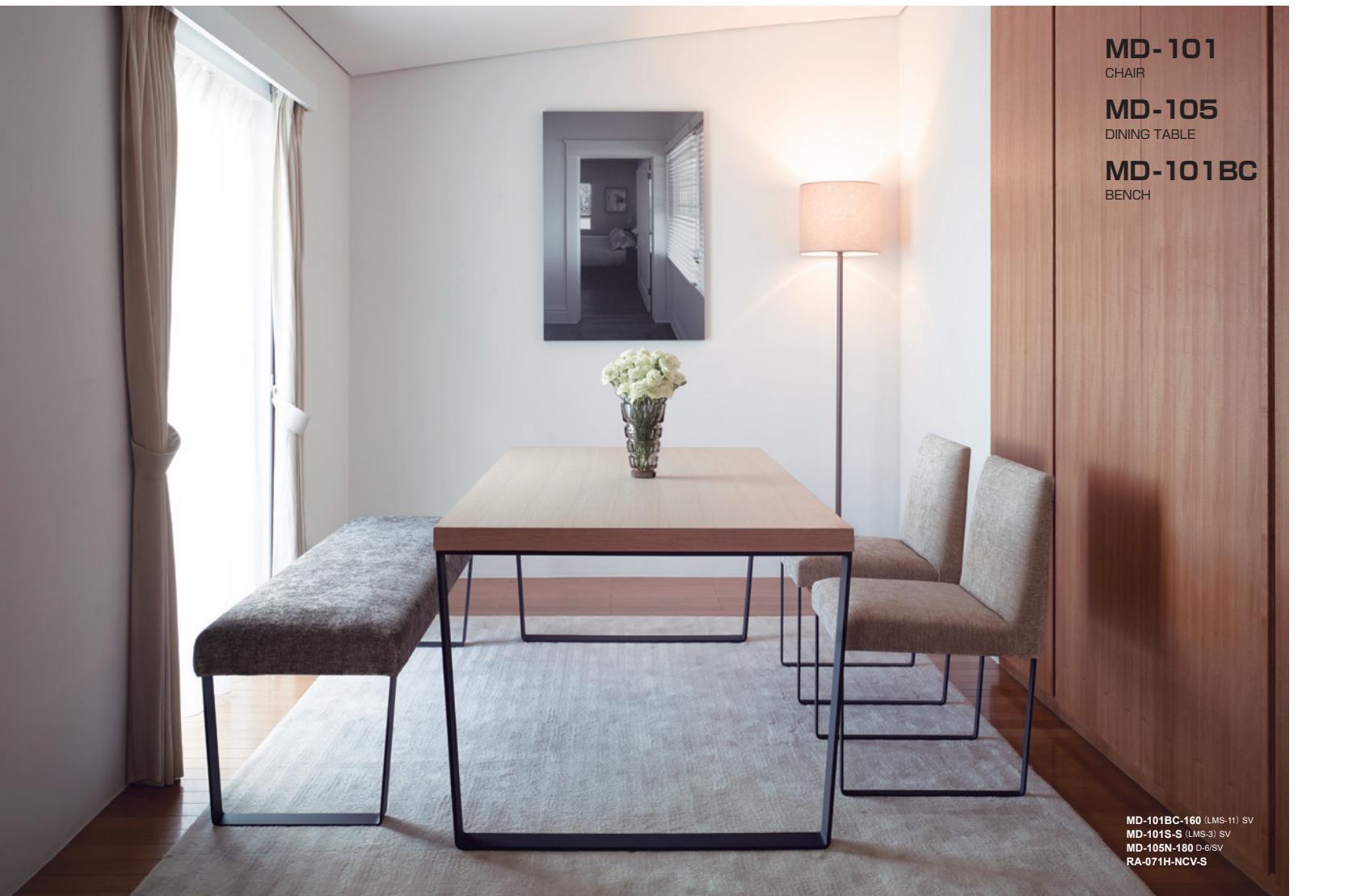
MD-807
LIVING TABLE

MD-901L
LOUNGE CHAIR

MD-805-3PL (OL-1) D-5
MD-805-2PR (OL-1) D-5
MD-805-CRR (OL-1) D-5
MD-805-OT (OL-1) D-5
MD-807AH-90 D-5
MD-807AL-90C D-5
MD-807BH-45 D-5
MD-901L-H (SC-2/SC-5) D-3
NC-001H (ADC-5) N-8









20



21







社名にもなっている、最初のブランド『AD CORE:エーカーディコア』。イタリアモダンデザインを意識した、シャープでエッジの効いたデザインティスが持ち味のブランドです。金属と成型合板、ソリッドウッドと3次元成型など、斬新な異素材の組み合わせが、先進的な技術と考え方、モダンで主張し過ぎないデザインに凝縮されています。AD CORE ブランド製品の全てには、イタリアモダンデザインに敬意を評して、イタリア語名を冠しています。洗練されたモダンデザインと存在感は、さまざまな施設で協調性の高いキャラクターとして信頼されるブランドです。







PADRONA

1998
Side Chair / Arm Chair

PIATTINO

1998
Table

AD-985B (ADC-1) N-4
AD-984B (ADC-1) N-4
AD-989B-120 (天板ガラス・参考仕様)



PANNELLO

2008
Sofa / Chaise Longue / Ottoman

CORNICE

2002
Living Table

AD-085-LL-U (参考仕様) N-13
AD-085BR-2P-U (参考仕様) N-13
AD-085B-1P-U (参考仕様) N-12
AD-085OT-U (参考仕様) N-12
AD-003-120 (天板: 参考仕様)



ZEFFIRO

1989
Side Chair / Arm Chair /
Counter Chair / Table

AD-911B (参考仕様) N-1/N-1
AD-912B (参考仕様) N-1/N-1
AD-914A-180 N-1/N-1



ZONA

2001
Sofa / Chaise Longue /
Ottoman / Living Table

FESTA GRANDE

2000
Longue Chair

AD-015BR-2PL (参考仕様) AL/N-1
AD-015L (参考仕様) AL/N-1
AD-007 (参考仕様) AL/N-1
AD-016B-120 GF AL/N-1
RA-031L RA-031H



CERVO III SOTTILE
2004
Side Chair / Arm Chair







NEO CLASSICO

華美な装飾を避け、素材感を生かした『NEO CLASSICO：ネオクラシコ』。単なるプロダクト製品をリリースするのではなく、モノと人との関わり合いでもイメージして創りあげました。上質な北米産メープル材を使用し、例えばラウンジチェアの座面にスプリングコイルを使用したように伝統的な手法で本体を構成。厳選したファブリックを使い、仕上げはサルトリアの職人が手掛けた洋服のように仕立ての良さを感じていただけるシリーズにしました。オーソドックスで少しだけクラシカルなフォルムの中にも現代的なラインを表現した、仕上がりの細部までこだわり抜いたブランドです。



075 MODEL

Sofa



075 MODEL

Sofa







NC-007S (SC-4) N-10
NC-007A (SC-4) N-10
NC-011B-120 N-11/N-10

007 MODEL

Chair

011 MODEL

Table

009 MODEL
Sofa
010 MODEL
Table



NC-009-2PR (参考仕様) N-13
NC-009-2PL (参考仕様) N-13
NC-010AH-120 N-13
NC-010AH-60 N-13
RA-061P



NEO CLASSICO Heritage

ネオクラシコ ヘリテージのデザインモチーフは、豊かだった時代のヨーロッパです。それを、アメリカン ファッションのように自由でカジュアルな、流行に流されない様々なインテリアスタイルに対応できる自由な 発想でデザインしました。基本デザインはあくまでもベーシック、そのベーシックなデザインをヴィンテージ とフェミニン、アメリカンとブリティッシュなど、まったく違う印象に変化することができるデザインです。基 本のデザインと製品としてのクオリティが高くなれば、他の意匠に変化しても良いデザインにはなりません。基本デザインと構造、使いやすさでも追求したブランド、それがネオクラシコ ヘリテージです。







030M MODEL

Dining Chair

041BC MODEL

Bench

NC-030MS (RX-5) + OP (ADC-8) D-6
NC-030MA (RX-5) + OP (ADC-8) D-6
NC-041BC-C-180 (RX-5) D-6
NC-042A-210 D-6

045 MODEL 043W MODEL

Lounge Chair / Wing Chair

Sofa

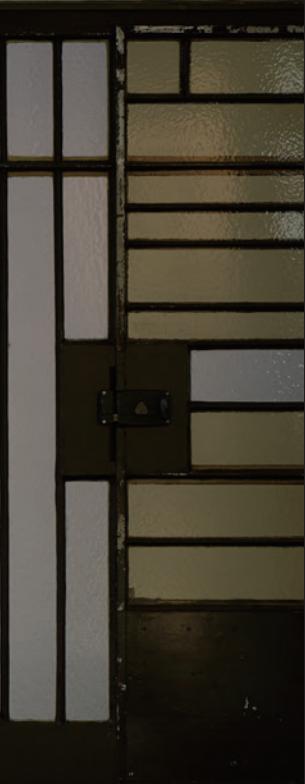
NC-045C-3P (参考仕様) D-3
NC-045BC-1P (参考仕様) D-3
NC-045BC-OT (参考仕様) D-3
NC-043LS-W (AVS-4) D-7
NC-047L-90 D-7/B
RA-071H-NCV-S





048 MODEL

TV Board / Cabinet



041C MODEL

Dining Chair + Slipcovered

042 MODEL

Dining Table

NC-042B-150 D-1
NC-041C-S (参考仕様)
NC-041C-A (参考仕様)
RA-071H-NCV-S



NC-048TV-LV-180 D-6

40 Years of Timeless Design and Sustainable Craftsmanship

1985年にエーディコアとして歩み始めた時、家具業界のことはまったく分からず、どの業界も問屋を通して物の流れを、問屋を通さない直接販売方法にし、プロユーチャーへPRを行いました。取引方法などもそれまでの業界の慣習などまったく分からず、業界自体を変えるんだという気持ちと、良いデザインを良い品質でお届けしたいという想いだけでスタートしました。若さゆえかもしれません、そのためにスタート時にはインテリア業界、家具業界で認めてくれるはずもなく、その後もずっと異端児として扱われてきました。そのどこにも属さない、独立した孤高のブランドであることは今も変わりません。

21世紀まで作り続けられるデザイン

自動車や家電、ファッショなどは新製品が生まれると同時に旧製品は廃盤になり、その寿命もシーズンごとに、3～5年とサイクルの短い製品が多く、新しい物しか価値として認められない時代が続いていました。エーディコアブランドをスタートさせた1980年代は、今よりもその意識が強く、環境問題を謳うよりも新しい製品が勝る時代でした。その頃の家具も工業製品と同じで、古くなった製品は価値がなく、売れなくなつた製品は廃盤になってきました。しかし、インテリアの一部として使用される家具は建築と同様、長い時間を人とともに過ごしていきます。そのため、建築や住宅と同様に10年、20年使える強度と品質でなければいけません。また、デザインも品質の一部で10年、20年、30年たっても色褪せない魅力的なデザインでなければ、寄り添うことはできません。そんなデザインを作り続けていこうと決めました。1985年設立時に決めたのは15年後の2000年、21世紀を超えるデザインを作ろうということでした。しかし、設立したばかりの会社で、そんな夢のような話をしても誰も信用してくれませんでした。1985年から21世紀を超え、それから四半世紀を過ぎ、設立

から40年が経過し2025年になった今、ようやく信用していただけるようになりました。

どこにでもありそうでないデザイン

1985年に掲げた目標は「21世紀まで作り続けられる家具、世紀を超えるデザイン」でした。デザイン性の高さは、奇を衒う、尖ったデザインではありません。そういったデザインは人の気を引き、いつきの販売数は稼げるかもしれません、少し時間がたつとデザインの寿命は終わるよう思います。世の中に残り続けるバーマネントデザインと言われる工業製品や家具は、その生まれた時代の最先端の技術を使いながらも基本的に飽きの来ないシンプルでオーソドックスなデザインがされています。エーディコアで製品デザインを企画する時に心がけたのは10年後にも新鮮に見えること。その時代の空間に存在しても古びて見えないことです。そのために、不要な装飾は加えず、シンプルでスタイリッシュなこと、どこにでもありそうで探そうとしてもどこにもない物、そしてエーディコアらしいデザイン。それが本当に難しい作業で、椅子のデザインは限られたサイズと機能の中に、美しい形状と少しの個性を組み合わせることは至難の仕事でした。

長く使用できる強度

息の長い製品とは優れたデザインだけではありません。長く使える強度も必要です。エーディコアはカフェやレストランなどプロユースの業務用家具メーカーとして出発しました。一般住宅用の家具と違いプロユースの家具は、使用頻度や時間が圧倒的に多く、その使用に耐えられるだけの強度が必要です。それまでの多くの一般木製家具は強度試験を受けている物も多く、プロユースに向かない家具も混在していました。エーディコアではプロユースの家具を販売するため

には試験で実証された強度が必要と思い、発表する家具には強度試験を行うことにしました。特に人が座る椅子の強度は重要で、JIS日本産業規格の強度試験を工業試験場で行い、その試験に合格した製品だけを販売することにしました。

しかし、JIS日本産業規格では一般住宅用の強度しか試験項目がなく、木製椅子については繰り返し強度試験（座に55キロの重りを乗せて前脚を5センチ浮かせて落下させ試験する）で4000回以上が合格ラインでした。エーディコアではプロユーチャーのために3倍の12,000回の繰り返し試験というハードルを独自に設定し、その強度が実証された製品のみを販売することにしました。しかし、いかにも強度がありそうな武骨なデザインでは意味がありません。華奢に見ても実際は強い椅子でなければ美しく見えません。それから苦難の連続でした。

在庫を持たず受注生産

エーディコアは倉庫を持たない家具会社としてスタートしました。今では受注生産をする会社も増えてきましたが、1985年当時は物作りは大量生産の時代でした。大量生産しなければ物は安くできない、そのため見切り発車で生産を行い、在庫をするための倉庫を持ち、売れ残れば在庫セールを行う、それでも売れ残れば廃棄される。それでも、在庫を持たなければ商売もできない時代でした。その時代、エーディコアでは無駄な物を作らないと決め、山形のある工場とジャストインタイム生産でのOEM生産をお願いすることにしました。その工場から直接お客様の現場へ製品をお届けすれば、倉庫を持たずとも販売が行えると考えました。在庫を持つ製品価格では、倉庫代や倉庫までの輸送費、売れ残りリスク、在庫不良の廃棄などを反映したコストで定価が決まります。それらを無くせばロット生産しないことで製造コストが上がった

としても販売できるのではないか、無駄な物を作らないことで環境にも優しくなるのではないかと考えました。しかし、在庫があつて当たり前で「明日持つてこい」と言われる時代、受注生産での受注は業界でも非難され、たとえ納期が2～3週間だとしてもご理解いただくのに、本当に時間がかかりました。今では家具業界でも、ユーザーの理解が進み受注生産での製造が当たり前になってきました。そのシステムを工場の方と40年前から取り組んでいたのは私たちの誇りです。

環境と人に配慮したものづくり

1985年当初はバブル期へ向けて景気が上向き始めている頃で、大量消費時代でもありました。戦後しばらく多く発生した公害問題もひと段落し、世の中では環境に配慮するものづくりや、人への環境配慮、地球環境のことなどあまり気にする時代ではありませんでした。エーディコアでは在庫を持たない受注生産を考え、完成度の高い製品づくりを行うために、塗装後の製品組み立てをするノックダウン方式の構造を取り入れた製品が多く、初期の製品はすべてがセミノックダウン製造品でした。その恩恵で、製品を長く使用する際に痛む座や脚部などのパーツでの交換を可能にしました。また、製品に使用する材料は、接着剤やフォルムアルデヒド含有率の少ない合板にこだわり、当初から合板についてはF1（1980年JASが決めた一番少ない含有量の規格）を使用するなど、材料にもこだわってきました。2003年からはJAS合板規格のF☆☆☆☆にしています。また、2020年からは新型コロナ感染に対し抗菌塗装を標準化し、感染防止などに取り組んでいます。

環境への取り組み

環境への配慮はものづくりだけではありません。今では製品

性能の一部としての認識がされるようになりました。エーディコアではカーボンニュートラルや持続可能な取り組み、SDGsにも取り組んでいます。2020年からはすべての製品配送のための梱包材に石油由来素材ができるだけ使用しない取り組みとして、発泡スチロールの再生紙への変更、ビニール袋を自然由来素材の不織布に変更しています。一部使用せざるを得ないエアパッキンやPPバンドについては再生されたものを使用しています。2022年からカーボンニュートラルへの取り組みとして、大分県日田市で製造されるソファの構造体で使用されるラワン合板の多くを、国内生産された杉・檜の針葉樹合板に変更しました。数千キロ離れた場所から移動される東南アジア産のラワン合板を日田工場の近隣の合板工場への移動と、針葉樹に蓄えられた二酸化炭素を留め置くために、家具への使用を考えました。ラワン合板だった背の裏側に使用されていた薄合板を再生紙に変更し、ソファに多く使用されるクッション材では、石油製品のウレタンフォームの代わりにリサイクルチップウレタンを主に使用しています。私たちのような小企業であっても子供たちの将来のために取り組み続けるべきだと考えます。

国内生産へのこだわり

1985年からスタートした当社のものづくりの原点は、山形の工場の社長との出会いからでした。家具業界を良い業界にしたい、みんなが憧れる業界にしたい、そんな思いが合致したからです。無駄な物は作らない受注生産方式と一緒に取り組み、生活雑貨と思われていた家具を工芸に近い工業製品にまで高めるために、切磋琢磨（せっさくま）してより良い製品を作り続けてきました。時代は過ぎ、ものづくりの製造工場は韓国、中国、ベトナムなど東南アジアへ移り変わっていました。私たちの家具業界でも同じで、日本製

の家具は稀有な存在になりました。エーディコアでは、息の長い製品づくりは私たちと気持ちを理解し合える人たちが製造した製品でなければあり得ない、その気持ちのこもった製品をお届けしなければいけない、お使いいただけるお客様にも同じ気持ちで欲しいと、製品を世の中に送り出してきました。スタート時の気持ちを今でも忘れていません。今ではフェアトレードという考え方は一般的に聞くようになってきましたが、実際は普及していません。私たちは製造側もお客様の両方が幸せを感じられるような仕事をしていきたいと思っていて、この姿勢は今後も変わりません。

これからのエーディコア・ディバイズとして

これからの10年、50周年に向けて、エーディコア・ディバイズとして取り組むのは、家具業界を憧れの業界にしていくことです。スタートした1985年当時に、産業では底辺業界と言われ、製品在庫を持たず、問屋を通さない商売で、同業の家具業界から叩かれることが多くありました。しかし、私たちは自分たちの思いに賛同いただいた数多くのプロのお客様がいて、仕事を続けることができました。この20年はそのプロユーチャーのお客様と気持ちを同じにできるように、さまざまなスキルアップセミナーを行ってきました。それはインテリア産業がカッコ良い憧れる仕事として若者から見られるようにとの気持ちもあったからです。今は輸入ハイブランドが日本にショールームを持つようになり、家具業界の印象も変わりつつあります。これから10年は、国内工場やメーカーが社会人の仕事としてなりたい職業にしていかなければなりません。そのため、インテリア業界で働くプロユーチャーに注目され、より良い製品を作り続けてきました。時代は過ぎ、ものづくりの製造工場は韓国、中国、ベトナムなど東南アジアへ移り変わっています。私たちの家具業界でも同じで、日本製

株式会社 エーディコア・ディバイズ ショールーム

東京本社・六本木 ショールーム

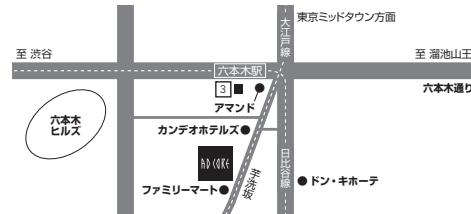
〒 106-0032

東京都港区六本木 6-8-10 STEP六本木 1F

Tel: 03-5843-0760 / Fax: 03-5843-0761

Open 平日 9:30 ~ 16:30 土 10:00 ~ 17:00

Closed 日・祝日



大阪・心斎橋 ショールーム

〒 542-0081

大阪市中央区南船場 2-6-12 SEDIC PLACE 2F

Tel: 06-6265-2060 / Fax: 06-6265-2080

Open 平日 9:30 ~ 16:30

Closed 土・日・祝日



名古屋・栄 ショールーム

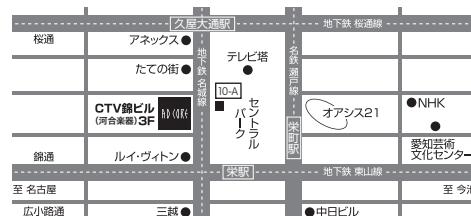
〒 460-0003

名古屋市中区錦 3-15-15 CTV 錦ビル 3F

Tel: 052-205-6770 / Fax: 052-205-6776

Open 平日 9:30 ~ 16:30

Closed 土・日・祝日



STAFF

Edition

AD CORE DEVISE INC.
Noboru Seto

Art director

Hiroshi Takahara

Designer

Masato Takahara

Photographer

Dominick Guillemot
Neil Kirk
Kazuhsia Maruyama

Coordinator

Yasuko Austin

Styling

Hiromi

Print

ales Co., Ltd

Printed in Japan

